

# NT

NISSEKI TOKYO

2017  
Spring  
Vol.13

## 地域で社会で 支え合う赤十字

表参道原宿での募金活動



# Contents

- 04 れっどくろす News&Topics
- 06 平成29年度 事業計画
- 08 **特集**  
**地域で社会で  
支え合う赤十字**
- 20 Hospital Referral  
武蔵野赤十字病院／大森赤十字病院／葛飾赤十字産院
- 23 献血 NEWS
- 24 国際 NEWS
- 25 福祉施設 NEWS
- 26 行け!OLレポーター オカモト★ 日赤とつげきレポ —vol.7 NT Lounge 編—
- 29 活動資金協力者(社)・団体のご紹介
- 30 Rediscovery TOKYO —第6回 八王子市・滝山公園(滝山城跡)—

**NT** Vol.13  
NISSEKI TOKYO 2017年4月発行

Facebook でも NT が読めます!



■発行・編集・デザイン／日本赤十字社東京都支部

〒169-8540 新宿区大久保1-2-15 Tel:03-5273-6747 (総務部企画課直通)

※本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断転写(コピー)・複製(転載)を禁じます。

※本誌に掲載されている情報は、発行に伴う情報収集時点での情報を含みます。その後の

内容に変更が生じる場合もありますので予めご了承ください。

ホームページ: <http://www.tokyo.jrc.or.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/redcrosstokyo/>

年4回発行(4月・7月・10月・1月)

日本赤十字社東京都支部にご寄付いただいた方に郵送でお届けしているほか、都内の赤十字病院及び献血ルーム・献血バス等の献血会場でも配布しています。

表紙写真: 本多 貴久(日本赤十字社東京都支部)



2016年5月、新大久保商店街振興組合のご協力のもと、JR新大久保駅から明治通りまでの大久保通り沿いにある56本の街路灯に赤十字フラッグを掲出しました。期間中には募金箱の設置やポスター掲出などにもご協力いただきました。



## 患者サービス課で頑張ります！ ペッパーくんが葛飾産院に入社

3月1日、人型ロボット「ペッパー」くんが葛飾赤十字産院に入社しました。全国に92ある赤十字病産院で初めての採用となります。

入社式で三石知左子院長から「患者サービス課窓口係に任命する」との辞令を受け取ったペッパーくんは、「精一杯がんばります!」と力強く答えました。今後は、来院された患者さんや面会者を案内したり、ゲームで遊ぶなどの業務に従事します。来院の際は気軽に声がけくださいね。



ペッパーくんを中央に三石院長(左)とハートラちゃん

## いざという時に備えよう ボランティアが「減災」アピール



各地に設置されたブースに多くの方が来場されました

2月下旬～3月下旬にかけて、東京都内28か所で400人以上の赤十字ボランティアが「赤十字ボランティア減災アピール」を展開しました。東日本大震災から6年が経過した今も、その記憶は薄れることはありません。また、昨年には熊本や鳥取での大地震、糸魚川では大火が発生するなど、災害は決して他人事ではありません。

この活動は、災害時に欠かせない「食」に

焦点をあて、家庭でも簡単にできる非常炊き出しの方法やオリジナルレシピの紹介、ミニ講習など、工夫を凝らしたブースが設置され、来場者楽しく減災をアピールしました。

調布市役所に設置した会場に参加した調布市赤十字奉仕団の横尾日出子さんは、「頭でわかっている、いざという時に急にできるものではないので、ぜひ一度やってみてほしい」と語りました。



楽しく、真剣に語る横尾さん

## 手作りのうどんは美味しいね！ 赤十字子供の家が体験学習



はじめてのうどん作り。貴重な体験ができました

1月14日、赤十字子供の家の子どもたち11人が丸亀製麺武蔵境店でうどん作り体験に挑戦しました。

店舗の先生の指導のもと「僕がやる」「次は僕ね!」と楽しそうにこねて、踏んで、伸ばしてと大盛り上がり。

この日丸亀製麺からは、「きよしこの夜なきうどんキャンペーン」で全国約29万人が協力した寄付の贈呈式を行いました。皆さまのご協力ありがとうございました。

## 災害時救護ステーション訓練 東京トヨペット(株)と初の連携

11月26日、日本赤十字社東京都支部と東京トヨペット(株)は震度7の地震が発生したとの想定のもと、東京トヨペット・カーテラス深川店の敷地内で「救護ステーション訓練」を開催しました。

東京都支部と同社は2015年4月に「災害救護に係るパートナーシップ協定」を締結しており、災害時は東京トヨペットの店舗を救護活動拠点として、平時には救護スキル教室として活用することとしています。今回は、新車販売店の店舗を使った初めての訓練とな



救護所となるテントを店舗前に展開



店内では救護スキル教室を開催し多くの方が参加。



りました。

当日は、スタッフとして多くのボランティアも参加。救護活動用の大型テントが設置され、「プリウスPHV」がテント設営時などの電源として活用されました。ショールームのスペースを活用した救護活動デモンストラーション、地域住民・来店者を対象とした救護スキル教室、非常食の炊き出しなどの体験コーナーも設け、来店者に参加いただきました。家族連れの参加者からは「炊き出しの豚汁が温かくておいしい」と好評でした。

## 赤十字フラッグが 新宿通りにたなびきます

東京都支部は新宿大通商店街振興組合の協力により、5月の赤十字運動月間にあわせて、新宿通りの新宿駅東口交差点から新宿二丁目交差点まで設置されている34本の街路灯に赤十字をPRするフラッグを掲出します。

掲出予定期間は5月22日(月)～6月15日(木)。新宿通り沿いには3つの献血ルームがあり、献血者数は全国随一を誇っています。期間中は通りに赤十字フラッグをなびかせてPRを促進します。



新宿通りの赤十字フラッグ掲出イメージ

## 早稲田大に学生奉仕団誕生！ 福祉活動に取り組みたい



結団した奉仕団の皆さん(前列3人)と東京都支部職員

3月14日、早稲田大学学生赤十字奉仕団の結団式が行われました。都内の学生奉仕団は17団目となります。小山貴大委員長は、「東京都支部130周年の節目に復団することができ、地域に密着した医療・福祉活動など他大学と協力した活動をしていきたいと思います」と決意を語りました。今後は、早稲田キャンパスを周辺に地域の清掃活動などにも取り組むほか、赤十字の活動にも積極的に参加する予定です。

## 多くの企業や団体が賛同 「私たちは忘れない。」プロジェクト

3月1日～31日の1か月間、日本赤十字社では、東日本大震災など過去の大規模災害の経験を「忘れない。」ことをテーマとした「私たちは、忘れない。」プロジェクトを全国で実施しました。

このプロジェクトに賛同いただいた企業・団体は全国で200社・団体を超え、そのうち東京都支部との関係から賛同くださった企業・団体は30社・団体になりました(いずれも3月14日時点)。

期間中には日赤職員や赤十字関係者、賛同企業・団体の関係者がキャンペーンバッジを着け、日常業務やイベントなどを通じて、プロジェクトをアピールしました。

「私たちは、忘れない。」  
プロジェクトロゴマーク



## がん患者と家族を励ましたい 読響がハートフルコンサート♪



ハーモニーがアトリウムに響きわたりました

2月17日、武蔵野赤十字病院アトリウムで「第64回読響ハートフルコンサート」が開かれました。がん患者とご家族への支援事業として公益財団法人正力厚生会と読売日本交響楽団がタイアップして開催しているもので、全国のがん診療連携拠点病院などで年に数回開かれています。

モーツァルトや映画音楽など10曲が披露され、弦楽四重奏の癒しの音色に、会場は感動に包まれました。

## 区民健康マラソンに救護ランナー 国士舘大学の学生ボラも参加

1月29日、東京都支部は開催された第15回新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンに救護ランナーとして協力しました。昨年に引き続き2回目の取り組みです。

赤十字ボランティア、国士舘大学の学生ボランティアや救急救命士による16人6チームの救護ランナーたちは、AEDや応急手当キットを携帯しながら、リレー方式でランナーとともに新宿の街を走り抜けました。



大会の安全を支えた救護ランナー

## 真冬の山間部で災害が発生!? 豪雪地帯で宿泊訓練を実施



関東甲越の1都6県から集まった救護職員

1月25日～27日、東京都支部は第2ブロックの都県支部合同で宿泊訓練を実施しました。今回は、新潟県湯沢町の山間部で災害が発生したとの想定です。

訓練地は積雪2mを超えており、活動拠点設営は吹雪の中で行いました。こうした豪雪地帯で災害が起こる可能性もあることから、日本赤十字社では悪天候にも対応できるよう訓練などを通じて備えています。





## 平成29年度事業計画

### 救いを必要としている人々のために

#### 平成29年度事業計画の骨子

平成29年度は、近未来を見据えたスタートイヤーとして、これまでの活動で培った経験を基に多面的な事業を展開し、さらに多くの方々のご理解とご協力を得られるよう努めていきます。私たちは、これまでと変わらず赤十字の理念に共感してくださる皆さまの思いと情熱を原動力として、救いを必要としている方々に支援が確実に届くよう、ジミチな活動を積み重ねていきます。

#### ①災害に立ち向かう力を大きく、被害は小さく

災害に対する備えはどれだけ強化しても「万全」という言葉は使うことはできませんが、常に最悪の場合を想定し、できる限りの事前の備えを行うことが重要です。そして、災害が起きた後の対応は、人命に直結するような急性期のものから生活環境を向上していくための長期的な支援まで多岐にわたります。赤十字は、そのような様々なニーズに対応していくために、組織の力を結集するとともに積極的に外部のパートナーとも連携、協力して災害対応能力の更なる向上と減災に向けた取り組みを進めていきます。

#### ②「救ってくれる人」が近くにいるという安心のために

東京都支部は東京都応急手当普及推進協議会のメンバーとして、同協議会が掲げる普及目標（東京都内における15歳から69歳までの昼間人口の5人に1人＝約1,120万人）の20%にあたる224万人の達成に寄与するために、東京の地域性を考慮するとともに、社会のニーズに的確に対応した普及計画を立案し普及を進めていきます。

#### ③ボランティアが活躍する組織へ

赤十字活動を支えているのは紛れもなく「人の力」です。そのなかでも赤十字ボランティアは様々なカテゴリーを持ち、幅広い年代で構成される多様な力を持った存在といえます。その「力」が、苦しんでいる人を支えるための活動のなかで十分に発揮されるよう、赤十字ボランティアの参画領域を拡大し、活躍の場を創出していきます。

#### ④苦しむ人を分け隔てなく救うために

混迷を極める中東地域をはじめとする紛争や多発する自然災害により、世界中で苦しんでいる人々がいます。その現実を直視し、国際活動に参画する人材を積極的に育成していくほか、開発協力事業のサポートや国際人道法の普及など、今、できることを着実に遂行していきます。



#### 平成29年度歳出予算内訳

救護・救援活動	356,721千円	24.8%
奉仕団・青少年赤十字の支援	190,679千円	13.2%
救急法等講習会の実施	83,659千円	5.9%
献血推進	20,814千円	1.4%
看護師養成	14,400千円	1.0%
赤十字会員（社員）の加入促進	168,142千円	11.7%
広報活動	73,952千円	5.1%
福祉施設の運営	134,312千円	9.3%
社屋修繕	31,030千円	2.2%
災害等資金積立金	45,000千円	3.1%
活動の運営管理	321,291千円	22.3%

※事業計画の詳細については、東京都支部ホームページでご覧いただけます。

<http://tokyo.jrc.or.jp/>

日赤 東京



# 東京都支部130周年を迎えるにあたって

皆さまには、日頃から赤十字事業に多大なご支援、ご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

今年は、日本赤十字社の前身である博愛社の創立から140周年、東京都支部は創立130周年の節目を迎えます。こうしたことから、今年を、未来に向けて新たにスタートする年と位置づけ、今後10年間の東京都支部の中長期ビジョンとして、「東京都支部近未来ビジョン130」を策定しました。これまで築いてきた歴史を尊重しながら、未来への方向と決意をここに示しています。

また、それを基盤として策定した平成29年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)については、2月10日に行われた平成28年度第2回評議員会で審議が行われ、原案のとおり承認されました。

今後とも、様々なパートナーと共鳴し、社会の共感を得ながら、人々が支えあう安全・安心な社会づくりに貢献していきます。

日本赤十字社東京都支部支部長

十・三・百・会・子



45人の評議員により審議され、承認されました

## 東京都支部近未来ビジョン130

いちさんまる

東京都支部の130周年を契機に10年間にわたるひとつのスパンと捉え、140周年(平成39年度)までの近未来における事業構想を「東京都支部近未来ビジョン130」として策定しました。これまで築かれてきた歴史を尊重しながら、未来に向けて、私たちが

進む方向と決意をここに表現しています。

人が支え合い、苦しむ人が救われる社会であるために、赤十字の理念に共感していただける方々と、これからも一緒に歩んでいきます。

130<sup>th</sup>  
Anniversary  
Since 1887  
日本赤十字社 東京都支部

### 東京都支部が目指す10年後の姿

様々なパートナーと共鳴し、社会の共感を得ながら、人々に信頼され、安全、安心を与え続けられる存在。

### 東京都支部近未来ビジョン130のスローガン

人が支え合う安全、安心な社会づくりに貢献するために、赤十字はヒタムキに、ジミチに取り組みます。

#### Vision 1

### 災害と向き合う

災害大国日本の首都東京において、大災害に対する救護活動をさらに強化するとともに、被害を軽減する防災・減災を広める活動を積み重ねて災害に強い社会の実現に貢献します。また、被災された方々のニーズに沿った支援とは何かを追求し、実践していきます。

#### Vision 3

### 社会と共生する

社会情勢の変化や多様化が進み、それに付随して新たな支援ニーズが生み出されていきます。そうした時代の流れに対応していくために必要な動きが取れる体制作りを進めます。

#### Vision 2

### 人の力を集める

「苦しんでいる人を救う。」という赤十字の理念に共感し、共に活動する人々を一人でも増やして支援の輪を大きくしていくために、様々な人々と強い信頼関係を築いていきます。

#### Vision 4

### 未来につなぐ

これまでの歴史で赤十字が育ててきた「人を思いやる心」をこれからの将来を担う人々に引き継いでいくために、人道教育や世代をつなぐ取り組みを積極的に行っていきます。

人々が支え合う  
安全、安心な社会



特集

# 地域で社会で支え合う赤十字

赤十字は、活動に参加いただいている方と、活動資金にご協力いただいている方を、「赤十字」の一員と考えています。

皆さまからの活動資金によって、災害時には自治体や地域住民の方々と協力して救護活動を展開します。同時に、災害救護用資材の提供や減災セミナーの開催などを通じて、皆さまの地域活動も支えています。

今回の特集では、会員の皆さまが具体的に赤十字とどのように関わっているのか、普段は見えにくい、地域・社会と赤十字の支え合いについて紹介します。

減災セミナーで講師を務めた東京都支部振興課 郷原貴利係長は「セミナーは楽しくおもしろく！がモットー。楽しければ、記憶に残りますから」と話します。減災セミナーについてはp14-17に掲載しています。

©Natsuki Yasuda/studioAFTERMODE



## 表彰制度について

**活** 動資金へのご協力金額に応じて、各種感謝状や有功章などを贈呈しています。表彰の対象者には、毎年開催されている東京都赤十字大会で、日本赤十字社名誉副総裁から直接感謝状などが授与されることもあります。詳しくは日本赤十字社東京都支部ホームページをご覧ください。



<http://www.tokyo.jrc.or.jp/kyoryoku/shikin/seido.html>

### <有功章の種類>

**銀色有功章**…一時または累計額が20万円以上50万円未満の活動資金へのご協力をいただいた個人・法人等に贈呈  
**金色有功章**…一時または累計額が50万円以上の活動資金へのご協力をいただいた個人・法人等に贈呈

※法人・団体の銀色及び金色有功章、個人の銀色有功章は「桶式」、個人の金色有功章は「勲章式」となります



日本赤十字社名誉副総裁から直接感謝状などが授与されることがあります



金色有功章で贈呈される勲章と桶。左から女性用勲章、男性用勲章、桶（法人）

## 活動資金に協力するには？

**以** 下のような方法で募集しています。「苦しんでいる人を救いたい」という赤十字の理念に共感していただける方のご協力をお待ちしています。

- 1) 赤十字運動月間（5月）を中心に行われる戸別訪問
- 2) 赤十字施設や区市町村の担当窓口
- 3) 郵便局・銀行でのお振込み、預金口座振替やクレジットカード決済
- 4) コンビニや協力店舗にあるチャリティーボックス
- 5) 広報誌『NT』貼付の振込用紙を使用（P28をご覧ください）



町会・自治会のご協力を得ながら、赤十字協賛委員や赤十字奉仕団員等が戸別に訪問させていただきます



## 「会員」って何ですか？

**日** 本赤十字社は会員で構成されています。具体的には、日本赤十字社の活動に共感していただき、会員となる意思表示をされた個人・法人の方々です。日本赤十字社は、会員の皆さまを赤十字の「支援者」と考えており、一人でも多くの方から共感していただけるよう努めています。

平成29年4月1日から「社員」を「会員」と呼ぶことになり、これまでのように500円以上（目安）の協力者は「協会員」という名称になりました。2,000円以上ご協力いただき、会員になることを希望された方には、業務内容や収支報告をお知らせする広報誌『NT』を送付いたします。



## 私たちの寄付が災害救護にも役立つ

——「会員」の声

**すくも けいこ** 評議員／代議員／赤十字奉仕団東京都支部委員会  
名誉委員／武蔵野市赤十字奉仕団委員長

**昭** 和59年から武蔵野市赤十字奉仕団に所属しています。40代の頃からになります。母が奉仕団員だったこと、亡くなる時に日赤病院にお世話になったことから、自然に参加することになり、その時から赤十字の会員（当時は社員）です。武蔵野市赤十字奉仕団は昭和24年に設立。都内では3番目にできた奉仕団でした。

武蔵野市には町会がないので、奉仕団員が一軒一軒お宅を訪問して活動資金を集めています。入団した最初の頃は、“活動資金”と言われても何のことかわかりませんでした。でも、お宅を訪問すると、皆さん「赤十字だから」と快くお金を出してくださいました。私も奉仕団員になってから赤十字について勉強して、赤十字が活動資金で成り立っていること、私たちが出すこのお金が日本や世界の災害救護に使われているということを知りました。同時に、「周囲にもきちんと伝えなければいけない」と思いました。「自分から広めようとしなければ広まっていけない」とも。

金額の大小に関わらず、寄付は本当に尊いもの。赤十字のことをきちんと説明して、次世代にもつないでいきたいと思っています。

日本赤十字社の活動は、赤十字の理念に共感し、支援してくださる「会員」の皆さまによって支えられています。災害救護や防災・減災への取り組み、救急法等の講習普及活動などは、すべて「会員」の皆さまからの支援がないと成り立ちません。とはいえ、「そもそも会員って？」と思う方も多いのではないのでしょうか。そんな皆さまの疑問にお答えします。

支えてくれて  
ありがとう！



# 知っていますか？ 赤十字「会員」のしくみ。





皆さまからの活動資金で、地区に防災テントや炊き出し釜、緊急車両などを配備しています



昨年の品川区内の総合防災訓練には、日赤職員も参加



品川区内で子どもたちを対象に行った減災セミナー  
(品川区立中延小学校)



昨年6月に行われた避難所訓練でロープワークを伝授(品川区立延山小学校)

おいしい物のついでに献血も  
献血バスがやって来ます！

日時：6月3日(土) 10:00～11:15  
12:30～16:00  
場所：東急池上線・荏原中延駅前

時、みんなも助かると思います。  
**阿世知** 同じようなセミナーは他団体もやっているけれど、赤十字のセミナーは奉仕の精神が伝わる

「町会に助けてもらわなくても自分でやれます」という「個人主義

道がもっとハッキリわかれば、寄付しようという人も増えるので

「日頃から赤十字の活動にご協力いただき、本当にありがとうございます。皆さんの赤十字との出会いや関わり方について教えていただけますか？」  
**阿世知** 献血を通じて若い頃から知っていましたが、意識を持つようになったのは町会に関わるようになってから。なぜ献血が必要なのかも理解し、ボランティアなど多くの人が関わっていることも知りました。社会福祉も手がけていて、「日赤」献血と病院」というイメージがガラッと変わりました。  
**江森** 毎年、5月は活動資金の募集、6月は献血に取り組んでいます。今年は6月3日に荏原中延駅前

の魅力を知りました。  
**誰でもできる  
応急手当が学べる**  
——中延一丁目町会では、減災セミナーも積極的に開いていた

ところがいいよね。PTAの役員さんから相談を受けた時も、「日赤さんのセミナーにしたら」とアドバイスしてあげました(笑)。  
**山際** 学校は難しかったとしても、PTAは相手が地域住民なので、減災セミナーも、もっとやりようがあるかもしれませんね。

も多く、町会や赤十字ボランティアの担い手も減っていくのかなと感じています。  
——そうしたなかでも品川は、大変ご奮闘いただいています。  
**阿世知** 品川区で寄付が多いのは、品川区政の3本柱である「福祉・防災・教育」と、「どんな条件下でも人の命と尊厳を守る」という赤十字の理念が通じているからだと思っています。赤十字の理念に共感しているから、こんなに協力しているんですよ(笑)。

は、と思います。  
**阿世知** 私たちが活動資金の募集に取り組むのは、日赤さんに期待しているから。そのためにはPRをどんどんやるべきだし、町会にも踏み込むべきでは？ もっと図々しくなっていきたいと思いますよ。  
**山際** 区役所にとっては、赤十字は住民の自治活動を後押ししてくれるありがたい存在。品川区はベースとなる地域活動がバッチリあるので、災害救護用資材やセミナーなど、日赤からの支援を活用しています。赤十字は、いざという時だけでなく、実はふだんからいいことをやっている。DVDを作ったのは、もっと区民に知らせたいという思いからです。  
**昆** 私も、赤十字の魅力をもっとPRしていきたいです！

## 活動資金の募集や献血に大活躍。 品川区中延一丁目町会の思い

赤十字は地域の皆さんに支えられていますが、同時に赤十字も、災害救護用資材の提供や減災セミナーの開催などを通じて地域の活動を支援しています。品川区赤十字奉仕団では、東京都支部の減災セミナーを広めようと、活動紹介のDVDまで製作してくださったほど。赤十字という「資源」を活用しながら地域を盛り上げている、そんな同奉仕団の主要メンバーである品川区中延一丁目町会の皆さんにお話を伺いました。

聞き手・NT編集部



今回お話を伺った、品川区の皆さん

やまざわ ゆみこ  
**山際 由美子**さん  
品川区福祉計画課  
庶務係長

こん ともこ  
**昆 智子**さん  
荏原第三地域センター  
所長(荏原第三連合町会事務局・品川区赤十字奉仕団荏原第三分団事務局)

え もり けいこ  
**江森 佳子**さん  
中延一丁目町会役員

あ せ ち たかし  
**阿世知 堯**さん  
中延一丁目町会会長

赤十字は「献血と病院」  
だけではない

——日頃から赤十字の活動にご協力いただき、本当にありがとうございます。皆さんの赤十字との出会いや関わり方について教えていただけますか？  
**阿世知** 献血を通じて若い頃から知っていましたが、意識を持つようになったのは町会に関わるようになってから。なぜ献血が必要なのかも理解し、ボランティアなど多くの人が関わっていることも知りました。社会福祉も手がけていて、「日赤」献血と病院」というイメージがガラッと変わりました。  
**江森** 毎年、5月は活動資金の募集、6月は献血に取り組んでいます。今年は6月3日に荏原中延駅前





©Natsuki Yasuda/studioAFTERMODE

セミナーでの講義では、災害時の“備え”の大切さについて、過去の災害を踏まえて伝えている

**備えがあれば、被害を最小限にできる**

減災セミナーは、災害時に自分を守る術を身につけようと東京都支部が都内各地で開いています。この日のセミナーには立川市赤十字奉仕団のメンバー46人が参加。「防災士の資格は持っているものの、赤十字の減災セミナーは初体験」という安田さんも興味津々です。

まずは、防災に対する基礎知識についての座学から。「災害の発生を阻止することはでき



Natsuki Yasuda

### 安田 菜津紀さん

1987年神奈川県生まれ。studio AFTERMODE所属。カンボジアや東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害をテーマに取材を続けている。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に被災地を記録。最新の著書に「写真で伝える仕事 世界の子どもたちと向き合って」(日本写真企画)。TBS「サンデーモーニング」コメンテーターも務める。

ないが、事前の準備で被害を最小限にすることはできる」「災害発生時、市民感覚として「公助が7割 かもしれないが、実際には「公助は1割が現実」ということなどを知り、自分や大切な人を守るために、最低限の応急手当について学ぶ必要性を理解しました。

### コンビニのポリ袋は災害時に大活躍！

赤十字の減災セミナーは実技重視。参加者たちは早速、三角巾を使った止血方法を体験しました。安田さんも2人1組のバディを組み、額の傷に三角巾を巻いて圧迫止血。「うん、まずまずの出来かな？」満足そうな表情です。

清潔な三角巾などがない場合は、コンビニなどの手提げポリ袋が役に立つそうです。片側を切り開いて首からかければ、骨折した腕が固定できるほか、両方切り開いて赤ちゃんのオムツ代わりにも。参加者からは「へえー！」と驚きの声が上がりました。

立川市役所の赤十字担当者である福祉総務課の浅井元さ

んも「初めて三角巾の使い方を学びました。コンビニの袋も役に立つんですね。これから自分にもできそうです！」

### 毛布ガウンは、難民キャンプでも使えそう

次いで、毛布ガウン。避難所で配られる毛布を上手に「着る」ことができると、裾を引きずることもなく衛生的で、より暖かく快適に過ごせます。必要なのは腰の部分を結ぶためのひも。ロープやストッキングでも代用できます。

「着物の着付けみたいですね」と安田さん。「すごい保温効果！」と感激した様子。「これは、難民キャンプでも応用できますね。肌を出せないムスリムの女性たちにもピッタリ。私は写真で伝えることが仕事なので、取材していても、傷を治したり、身体を温めてあげることすらできません。でも、私にも写真以外でできることがあるのかも。今度、難民キャンプを訪れたら、この毛布の使い方を伝えたいと思います」と語ってくれました。

最後は、肩や背中をさすって



# 災害を生き延びる知恵は、地球の裏側でも同じ。

安田 菜津紀さん × 立川市赤十字奉仕団  
in 減災セミナー

©Natsuki Yasuda/studioAFTERMODE

減災セミナーで毛布ガウンを体験する立川市赤十字奉仕団員の皆さん





2 1  
4 3



1 肩や背中をさすってあげるリラクゼーションでは「愛情を込めてくださいね」という講師の言葉に受講者も思わず笑顔に／2 三角巾のたたみ方を伝授。たたみ方によって大きさが変えられる三角巾は、様々な傷やけがの応急手当に活躍／3 骨折時の腕の吊りのデモンストラーション。コンビニなどのポリ袋の片側を切り開いて首からかけることでも代用できる。傷病者役の地域推進課 小林有希主事は「災害時に大切なのは想像力。身の回りのものをどう使ったら手当できるか、考えてみるのが重要なんです」と語ります／4 2人1組のバディ同士で応急手当の実践練習。「大丈夫ですか？」の一言から、自然に会話が生まれます

©Natsuki Yasuda/studioAFTERMODE

Facebook でも NT が読めます！



(左から) セミナー中、シャッターを切る安田さん／毛布ガウンを体験。「両手を使えるのがいいですね」／額の止血では、手当をしながら相手の観察を忘れないことが大切

あげるリラクゼーションをお互いにとってあげながら、自らも効果を実感。安田さんも、すっかり奉仕団の一員になったような和やかな雰囲気のか、セミナーは終了しました。

一緒にやりませんか？  
「非常食キャンプ」

セミナーを終えた安田さんは「東日本大震災の時、医師だった義理の父は、不眠不休で医療活動を続け、一か月後には陸前高田を離れざるをえないほど消耗してしまいました。被災者自身が、避難所などで簡単な止血は自分たちでやって、様子を見てからお医者さんにかかるといったことができれば、医師にかかる負担を少しは軽減できるかなと思います」。セミナーの中では、備蓄している非常食は賞費期限を見て定期的に消費しよう、という話もありましたが、安田さん自身、キャンプや釣りの時に友人を誘って非常食を食べているそうです。「結構美味しいね、買ってみようかな、という話になりますよ」とのこと。「こうしたこと

### 皆さんからの寄付を、地元に還元したい



立川市赤十字奉仕団  
金子利津子委員長

立川市赤十字奉仕団は、188人の団員が10班に分かれ（平成26年度）、平日は毎日、献血ルームと血液センターでボランティア活動に取り組んでいます。地域の防災訓練にも参加し、炊き出しの手伝いや三角巾の使い方の講師なども。金子利津子委員長は「5月の運動月間では地域の皆さんから大切な寄付をいただいておりますが、それを地域に“お返し”するつもりで、さまざまなボランティア活動をしています」と語ります。

浅井さんは、配属3年目。「三角巾の使い方が知ることができて、とても良かった。こうした講習は繰り返し受けることが大切ですね！」



立川市役所福祉総務課  
浅井元さん

を実際に体験することで減災や防災への関心の間口を広げられるのでは？ “非常食キャンプ”のような企画を若者たちとやってみたいですね」と話してくれました。

また、世界で起きている地震の多くが日本に集中しているという話を聞いた安田さん。「それだけ、地震に対応するスキルが日本にあるということ。世界各地で災害が起きているなか、そうしたスキルをどんな外に手渡していけるのではないのでしょうか。」

### NTファンミーティング クロストークライブ3 ～知る、国際情勢と 考える、人道危機～

世界では今、1億3000万人もの人々が支援を必要としています。トークライブでは人道問題を捉えたショートフィルムを上映し、ゲストコメンテーターの安田菜津紀さん（フォトジャーナリスト）に、感想やご自身の活動体験をお聞きしながら、国際情勢について皆さんと考えていきます。

日時▶ 5月7日（日） 14：00～16：00

会場▶ 東急プラザ表参道原宿 6階おもはらの森

主催▶ 日本赤十字社東京都支部

ゲストコメンテーター▶ フォトジャーナリスト 安田菜津紀さん

※入場無料。詳しくは「NT」貼付（P28）の告知フライヤーをご覧ください。



12  
967  
911



### ★ 京橋千足屋表参道原宿店

昭和40年から表参道で営業を続ける老舗フルーツパーラー。期間中、ハートラちゃんをモチーフにしたオリジナルデザートを表参道原宿店と京橋本店で提供します。両店舗ではNTイラストページの展示会も開催。詳しくはp26をご覧ください。

渋谷区神宮前1-11-11 グリーンファンタジア201 / 営業時間：11時～21時(日～木・祝)、～22時(金・土) / ☎03-3403-2550

9



### ★ 東急プラザ表参道原宿

4月で開業から6年目を迎えます。6階にある“おもはらの森”で5月7日14時からトークイベントを開催。詳しくは「NT」貼付の告知フライヤー参照。

渋谷区神宮前4-30-3 / 営業時間：11時～21時(カフェ8時30分～23時) / ☎03-3497-0418

12  
8



### ★ キディランド原宿店

多くの著名アーティストやセレブが訪れるキャラクター&トイストア。こちらを目的に原宿に来る外国人観光客も大勢いらっしゃいます。

渋谷区神宮前6-1-9 / 営業時間：11時～21時(月～金)10時30分～21時(土・日・祝) / ☎03-3409-3431

12  
49  
711



### ★ ダイアナ原宿店

店舗2階に穴場的なカフェが。スタッフの藤山さんによると、お客様に赤十字のコースターをお出しすると「あ、そんな季節なのね」という表情をされるそうです。

渋谷区神宮前1-8-6 / 営業時間：11時～20時 / ☎03-3478-4001

2



### ★ KINJI (古着)

原宿に出店して12年目になる、原宿ならではの国内外アイテム(洋服、雑貨、小物等)を扱う古着店。

渋谷区神宮前4-31-10 B1F / 営業時間：11時～20時 / ☎03-6406-0505

10



### ★ 原宿の丘

赤十字とコラボしているショートショートフィルムフェスティバル&アジアの作品を上映

渋谷区神宮前3-12-8 / 上映：5/13(土)14時～

12  
911



### ★ 表参道・新潟館ネスパス

今年で20周年を迎える新潟県のアンテナショップ。新潟県産の米や酒など名産品の販売や、趣の異なる2か所のレストラン、観光センターもあります。

渋谷区神宮前4-11-7 / 営業時間：10時30分～19時30分(物販店舗。テナントにより異なります) / ☎03-5771-7711(代)

10



### ★ BA-TSU ART GALLERY

赤十字とコラボしているショートショートフィルムフェスティバル&アジアの作品を上映

渋谷区神宮前5-11-5 / 上映：5/20(土)14時～

12



### ★ 遊茶

100種の茶葉を揃える専門店。知識豊富なスタッフが試飲を交え、中国茶の世界へご案内します。

渋谷区神宮前5-8-5 / 営業時間：11時～19時30分 / ☎03-5464-8088



10

### ★ プチバトー(1～3F)

5月と6月、ゲリラ的にショートショートフィルムフェスティバル&アジア2017とのコラボイベントを実施します。営業時間：11時～20時

10

### ★ リモワ(1・2F)

赤十字と一緒に世界の紛争地をめぐったリモワのスーツケースを店内に展示します。

営業時間：11時～20時

10

### ★ 日本看護協会

6月19日(月)18時半からショートフィルムの上映とトークイベント。ゲストは5月7日のクロストークライブに出演するフォトジャーナリストの安田菜津紀さん他を予定。

610

### ★ カフェ・ル・ポミエ(2F)

店舗内と外観がショートショートフィルムフェスティバル&アジア2017とシンクロします。赤十字チャリティメニューも。

営業時間：11時～20時

※コラボ企画についてのお問い合わせ ☎03-6628-5450(赤十字国際委員会駐日事務所)

### ★ グリーンバード(清掃活動)



“KEEP CLEAN. KEEP GREEN”を合言葉に清掃活動をする団体。期間中は日赤職員も活動に参加します。

(月・木) 渋谷区神宮前6-9-1 / 活動時間：9時30分～11時30分  
(水) 渋谷区神宮前6-32 / 活動時間：10時30分～11時30分

### ★ 募金活動



神宮前交番脇の街かど広場で、学生ボランティアが赤十字活動資金の募金活動を行います。写真展「戦場を希望の大地へ」のブースも設置。

渋谷区神宮前4-25-19 / 活動時間：5/7(日)11時～16時 右写真=Brent Stirton/Getty Images/ICRC

### ★ 原宿表参道榎会

2009年の赤十字運動月間に赤十字旗を掲揚してから今年で9回目。榎の新緑に赤十字の赤が映える様子は5月の風物詩になってきているように感じます。明治神宮にお祀りされている昭和天皇皇后が日赤の黎明期を支えられていたというご縁もあり、明治神宮の表参道に生活する者として、普段の生活の延長線上で協力していければと考えています。

渋谷区神宮前 6-9-1 B1F / ☎03-3406-4303



松井 誠一 理事長

### Map の見方

★ ……赤十字フラッグキャンペーン参加店の地図番号

★ ……活動参加

261012 ……協力項目

①赤十字ミニフラッグ設置、②赤十字活動資金の募金箱設置、③店舗内でのCM放送、④店舗内でのポスター掲出、⑤店舗内での告知フライヤー設置、⑥オリジナルメニューの販売・寄付、⑦オリジナルコースターの使用、⑧レッドライトアップへの協力、⑨その他店舗独自の協力、⑩ICRCコラボ、⑪NT(本誌)へのプレゼント提供

# 赤十字にふれられる街『表参道』





## 武蔵野赤十字病院

- 所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1
- 連絡先 Tel 0422-32-3111 (代表)
- 休診日 土曜、日曜、祝日、5月1日(赤十字創立記念日)、年末年始
- 病床数 611床(一般528床、ICU 8床、HCU 22床、CCU 6床、SCU 9床、NICU 6床、GCU 12床、感染症20床)

心療内科・  
精神科部長

仲谷 誠

Makoto Nakaya



# 春の「心の不調」には要注意！

いわゆる五月病について

待ちに待った春。それなのに、気持ちが沈んで憂うつな気分が続くことは  
ありませんか？ それは「五月病」かもしれません。

1980年代頃から五月病とい

う言葉が、新聞やマスコミなどに登  
場するようになりました。もとも  
とはアメリカで、理由のはっきりし  
ない長期留年大学生を指した言葉  
ですが、日本でも仕事や学業を長  
期に休んでしまう若者に、この言  
葉が使われるようになりました。

入学や就職による環境や人間関  
係の変化・達成感後の虚脱感・予  
想と現実のギャップなどによる精  
神的な「疲れ」から、軽い抑うつ気  
分や不安、さまざまな身体症状を  
訴えて休んでしまう人が5〜6月  
に目立つようになったため、五月  
病という言葉がびつたりだったの  
でしょう。

## 社会人の五月病も増加

「五月病」の背後には、「世界は  
自分に何を求めているか」「自分と  
は何か」「何になるのがふさわしい  
か」「世界に自分の占める場所はある  
か」といった、青年期に特有とさ  
れる心の問題があります。

これは「自己同一性」や「アイデ  
ンティティ」という言葉で語られ

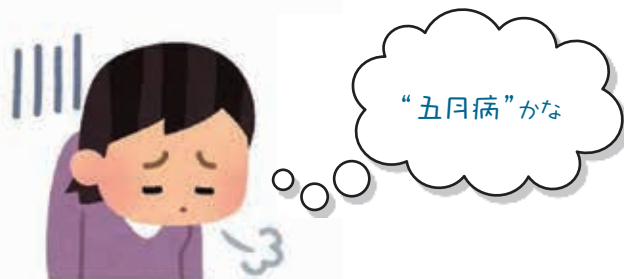
るので、耳にされたことがあるか  
もしれませんね。

しかし、「自己同一性」は社会状  
況と深く関わります。地域共同体  
の弱体化・社会的規範の弱体化・  
価値観の多様化・経済的不況など、  
社会的な変化が激しい時代では、  
社会人の五月病も増え、青年期の  
「実存的問題」よりも職場に適応で  
きるかどうかといった労働衛生問  
題として受け止められることが多  
くなっているようです。

## 気軽に心療内科を受診を

いずれにしても、まじめな人ほ  
ど内面的な葛藤に陥りやすく、仕  
事や学業をこなすことができなく  
なるようです。五月病の人に必要  
なのは、焦らないこと、固く考えず  
ぎないこと、親しい人とホッとす  
る時間を持つことなどではないで  
しょうか。

それだけでは難しいときには、  
心療内科や精神科を受診すること  
が解決につながることもあります  
ので、気軽に医療機関を受診され  
ることをおすすめします。



Hospital  
Referral



## 大森赤十字病院

■ 所在地 〒143-8527 東京都大田区中央4-30-1  
 ■ 連絡先 Tel 03-3775-3111 (代表)  
 ■ 休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(急患は随時)  
 ■ 病床数 344床(一般326床、ICU・CCU 6床、HCU 12床)

超高齢社会を迎え、男性の平均寿命も80歳を超えました。健康で長生きするために、ぜひ受けていただきたいのがPSAの検査。Prostate Specific Antigen(前立腺特異抗原)の略で、とても優秀な前立腺がんのマーカーです。

# PSA検査を受けましょう！ 早期発見で治る病気に

前立腺は男性だけにある生殖臓器で、膀胱出口の尿道を取り囲み、精液の生成にかかわっています。前立腺がんのほかにも、前立腺肥大症や前立腺炎などの病気が知られています。

## 男性にとってメジャーな前立腺がん

前立腺がんは、近年の報告では全世界の男性がんの14・8%を占め、死亡数は年間約31万人に達します。日本でも罹患数は10万人に迫る勢いで、肺がんを抜いてまもなく首位になることが予測されています。

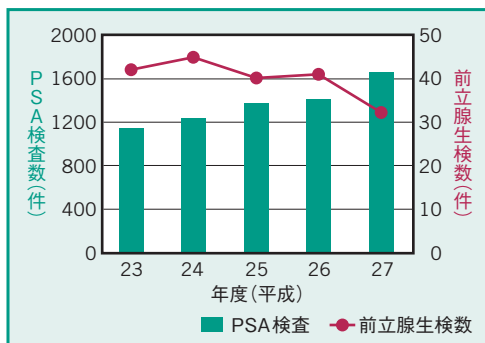
前立腺がんと関連が深いものとしては、①生活習慣(食事・運動・嗜好品など)、②肥満・糖尿病・メタボリック症候群、③前立腺の炎症・感染、④前立腺肥大症や下部尿路症状、⑤環境因子や化学物質への暴露、などが挙げられます。ふだんの生活では、適切な食事や運動を通じて肥満や糖尿病を防ぐことが、予防につながるといえるでしょう。

## 検査は採血するだけ！

早期の前立腺がんは無症状であることが多く、治療法も手術、放射線、ホルモン、抗がん剤とバリエーションに富み、根治も可能です。進行したがんであっても、これらの治療を組み合わせることでより改善が期待できるケースも多くあります。ひと昔前は、いきなり下半身が麻痺してしまい、調べてみたら前立腺がんの背骨への転移だったということもよくありました。現在はPSA検査の普及によって、こうしたケースは少なくなりました。

## 異常が見つかったら泌尿器科へ

PSA検査で異常が見つかった場合は、泌尿器科を受診してください。診断には前立腺生検(前立腺に針を刺し組織を採取する検査。当院では1泊入院、局部麻酔もしくは腰椎麻酔で実施)を行います。50歳以上で、特に父親や兄弟に前立腺がんがある場合は、検診時にPSA検査をお忘れなく！



PSA検査数と前立腺生検数の推移



当院泌尿器科のスタッフたち



## 社会的課題を抱えた妊産婦を支える

切れ目のないサポートを！

### 葛飾赤十字産院

- 所在地 〒124-0012 東京都葛飾区立石5-11-12
- 連絡先 Tel 03-3693-5211 (代表)
- 休診日 日曜、祝日、年末年始
- 病床数 113床 (産婦人科68床、NICU・GCU等45床)

葛飾赤十字産院では、2016年4月に「妊産婦支援チーム」を発足させました。社会的にリスクを抱えている妊産婦に対し、切れ目のない支援をめざしています。

近年、当院を受診される患者さんのうち、「社会的ハイリスク妊婦」が増えています。

「社会的ハイリスク妊婦」とは、周囲から育児のサポートを受けられない方、経済的な不安を抱えている方、10代での妊娠、DV(ドメスティック・バイオレンス)などの課題を抱える方のこと。

「妊産婦支援チーム」は、このような患者さんに受診の早い段階から関わり、他の医療機関や地域と連携し、生まれてくる子どもの安全と患者さんの意思を尊重した育児環境の調整を行うことを目的としています。

### 多職種が共同でサポート

「妊産婦支援チーム」は、産婦人科外来・小児科外来・NICU(新生児集中治療室)を担当する助産師や看護師とソーシャルワーカー、臨床心理士、医事課職員の計8人で活動しています(図参照)。

まず産婦人科外来で、支援が必要と考えられる患者さんを見つけ、「妊産婦支援チーム」で支援の

方法について検討します。その後、助産師による個別の保健指導、ソーシャルワーカーから支援についての情報提供、臨床心理士による心理相談などを行います。

### 経済的な相談もOK

経済的な面に不安のある方には、医事課が相談にのります。また、患者さんに関わる医師、看護師・助産師、コメディカルスタッフ(医師以外のスタッフ)とも情報を共有しています。退院後、母子の心身の安全性が危ぶまれると判断した場合は、地域の関係機関とカンファレンスを行います。

### 気持ちに寄り添いながら

育児を1人で行うのはとても難しいことですが、「子どもを育てたい」という気持ちと周囲のサポートがあれば、より安心して育てることができます。

私たちは、妊産婦さんの気持ちに寄り添い、より良い方向へ歩み出せるような支援をしていきたいと考えています。

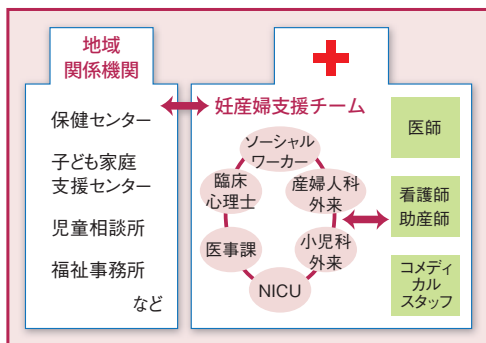


図 支援チームの構造



ミーティングで情報を共有



# 初めての献血のこと、覚えてますか？



**Profile ● 美山 加恋 (みやま かれん)**  
女優。1996年12月生まれ、20歳。テレビドラマ「僕と彼女と彼女の生きる道」(2004年)で注目を集める。TVアニメ「キラキラ☆プリキュアアラモード」では、主人公・いちかの声を担当。

**平** 成27年度に東京都内で初めて献血にご協力いただいた方は、約4万1000人。そのうち約3万人は10代と20代の方々です。初めての献血のきっかけは、「高校卒業の記念に」「空き時間があつたので」「たまたま献血バスがあつたから」など、さまざま。今回は、20歳の誕生日をきっかけに献血に初挑戦した女優の美山加恋さんにお話を伺いました。

——今回、なぜ献血してみようと思ったのでしょうか？

医療関係の仕事をめざしている友人が結構いて、「献血いいよ、加恋もやってみな！」「1回やってみた方がいいよ」と勧められていたので。ずっと興味はありました。今回、「大人としての挑戦を」という思いで献血にチャレンジしたのですが、「ついにデビューだ！」という気持ちです。こういう社会貢献ができるようになって、一歩大人になることができたのかな、と感じています。



事前検査では、AB型と確認できました

——初めて訪れた献血ルームの印象はいかがでしたか？

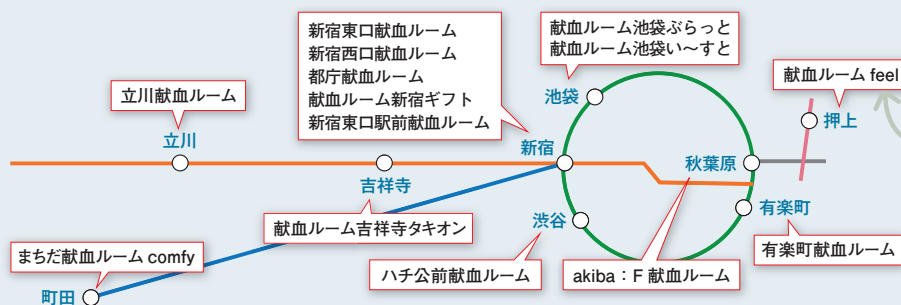
カフェみたいに飲み物やお菓子があつたり、本もあつて…すごくきれいで清潔感があつて、びっくりしました。「the病院!!」みたいなところ、というイメージだったので(笑)、予想外でした。

——実際に献血に挑戦して、同年代のみなさんへ伝えたいことは？

最近インターネットで、「献血デート」という記事を見ました。今日訪れてみて、「確かにこの空間ならデートできるな」と思いました。とてもゆったりとできる空間なので、カップルでも気軽に行けるところだなと。献血ルームの雰囲気をもっと知ってもらえたら、みんなも来てくれるだろうなと思います。



動物の動画を視聴しながら献血。「私は犬派です！」



今回献血していただいたルームは…

献血ルーム feel

東京都墨田区押上 1-1-2  
東京スカイツリータウン  
ソラマチ 10階  
TEL 03-6456-1972

東京都内には14か所の献血ルームがあります



武蔵野赤十字保育園

赤十字子供の家

# 3歳児たちが 「むし歯オバケをやっつけろ！」

# 「家庭」を体験できる 里親制度を広めたい



上の奥歯を  
みがくときは  
「さようなら」の持ち方



看護師の話に  
興味津々の  
園児たち

武蔵野赤十字保育園では1月13日、3歳児30人が「はみがき集会」を行いました。はじめに、看護師がパネルシアターを使って、「むし歯がなぜできるのか」や、歯みがきの大切さについてお話ししました。その後、シアターの主人公「ひろし君」が、キャンディやチョコレートを食べた後、歯みがきせずに寝てしまったため、むし歯の痛みに泣くことになり、歯みがきをしっかりとるようになった物語を聞き、歯みがきの大事さを知りました。

## 「こんにちは」と「さようなら」の持ち方

パネルシアターの後には、実際に歯ブラシを持ってみがき方の練習。歯ブラシの持ち方には、「こんにちはの持ち方」と「さようならの持ち方」の2通りがあります。「こんにちは」から「さようなら」に持ちかえるには、手の中で歯ブラシを回転させなければならないのですが、園児たちはとても上手に持ちかえていました。お友達同士で、ちゃんとできているか見せあっても。

看護師からは、歯ブラシを口に入れたまま歩かないこと、歯みがきをしているお友達を叩いたり、歯ブラシを振り回したりしないことなど安全面でのお話もありました。

赤十字子供の家では、児童養護施設と同じく社会的養護の制度である「里親委託」に積極的に取り組んでいます。施設で暮らす子どもの中には、親がいなかったり家族との交流が十分にできないケースもあり、“家庭”とは何かを知らずに育つこともあります。そのような子どもたちが家庭生活を経験し、温かい愛情に包まれながら心身ともに成長するためには、里親が必要です。子どもの状況に応じて、里親委託が望ましい場合は、施設で里親と交流して関係を育み、里親宅での家庭生活につながるよう支援します。

## 里親支援の専門相談員を配置

当園では里親支援専門相談員を配置し、里親委託を推進しています。園内での里親子の交流支援やアフターケアを行うのはもちろん、地域の里親サロン等に参加して相談を受けるなどの協力もしています。里親制度の普及啓発活動にも力を入れており、各市区町村で開催される養育家庭体験発表会や、図書館での里親関連本の展示など、児童相談所や子ども家庭支援センターと連携して活動しています。

里親制度が社会に広く理解され、里親として協力してくださる家庭が増えるよう、今後も力を尽くしていきます。



地域の子育て  
フェスティバルで  
チラシも配布

里親制度にご興味のある方は、  
当園までご連絡ください。

## 赤十字子供の家

TEL: 0422-31-8283 (担当：竹前<sup>たけまえ</sup>)



# 災害に強い地域づくりを支援

～フィリピン中部台風の復興支援事業～



2013年11月の台風「ハイエン」で被害を受けたフィリピンで、日本赤十字社は被災直後の医療救援活動に続き、セブ島中部から4時間の北部ダアンバアンタンの復興支援に取り組んできました。武蔵野赤十字病院の渋谷美奈子看護師は、2016年4月～12月の間、保健支援を目的に派遣されました。



の歯みがきは子どもたちに浸透したと思う」と語っています。一方、教訓としては、外科処置セットや車イス、医療器具の保管棚などの支援物資が有効に活用されていなかった例もあり、「受け入れ側の状況をよく考えた支援が必要だと感じた」と指摘しています。

今回の復興支援事業は、セブ島北部地域の安全や災害への対応力向上を目的としてきました。住民の赤十字に対する理解を醸成するとともに、防災教育や応急処置の講習なども実施され、「保健衛生などを知識として吸収してもらい、周囲や次世代につなげてもらうことが地域の対応力の向上につながるのではないか」と渋谷看護師は話しています。

同事業は2017年3月末で終了しましたが、今後はフィリピン赤十字の支援によって、力をつけたボランティアの住民が主体となり地域の安全・保健衛生環境の向上に取り組んでいきます。

## 看護師

## 渋谷 美奈子

Minako Shibuya

看護師として武蔵野赤十字病院に勤務。整形外科・消化器科・感染症科などを経験。台風「ハイエン」が直撃した2013年もフィリピンに派遣中で、ボランティアとして物品の支援業務などに従事した。



派遣中は、中高生に手洗いや歯みがきの重要性を伝える衛生教育に従事した



現地の看護師に医療器具の使い方を指導する渋谷看護師



日赤 東京都支部のラウンジが  
リニューアルオープンした!! 今回は  
そんな ホットな 話題 にトビガキ  
します!! とっても落ち付く、日赤  
ならではの空間が広がっていました。

# 行け! OLポタチ★日赤とげきレポ

## - Vol. 7 NT Lounge 系編 -

本棚には、  
「世界の人人」というテーマで  
集められた名著の数々!  
おカモトが  
読みたい作品

暖色の間接照明が  
リラックス♡

緑もたくさん!

日赤東京都支部の  
受付前ラウンジが  
NTラウンジとして  
リニューアルしたと聞いて、  
トビガキ取材しにきました♡

昔のラウンジが  
こんな感じだったの  
に……

写真家の  
菅原一樹先生の  
(日赤契約カメラマン)  
作品も美しい……!

看板は、  
日本の職人さん  
たちが制作!!

ええっ!!  
アロの  
デザインが  
いい!!

日赤とわたしたちも  
つながるスペースで  
あそびたい!!

受付で記憶すれば  
誰でも自由にくつろげる  
スペース、NTラウンジ……  
このオープンさ……  
すごすぎます!!

読書会や  
勉強会など  
いろいろ  
できるのね

救急法などの  
セミナーも  
開催できる!

オープンさや大窓から  
通りがかりの人も  
興味を惹くね。

なにこれ……!!  
さ、落ちつく……!!  
すごいオシャレ……!!

# 行け! OLポタチ★日赤とげきレポ

2017年 5月18日(月)~31日(水)

千正屋ギャラリーサマ  
今までの作品を一挙公開!  
5月18日(月)~6月30日(金)  
表参道 原宿店 サマ  
全てお楽しみ下さい!!



告知を  
忘れず!!  
お楽しみに!!



日本赤十字社東京都支部の協賛企業によりご提供いただいています。  
ご応募、お待ちしております！

A.



165ml  
24本入り  
3名様

## FIRE 挽きたて微糖

豆本来の味わいを引き出す製法で、上質な香りと味わいを実現しました。

B.



500ml  
24本入り  
3名様

## 午後の紅茶 ミルクティー

●東京キリンビバレッジサービス株式会社

スリランカ産キャンディ茶葉を使用。苦み・渋みのない濃厚な味わいに仕上げました。

C.



5名様

## ダイアナオリジナルマグカップ

靴のイラストが書かれたマグカップ。日本製です。

D.



5名様

## 本革オリジナル名刺入れ

●ダイアナ株式会社

牛革製のカラフルな名刺入れ。靴に使用する材料と同じ革で製作しています。

E.



500ml  
24本入り  
5名様

## カラダカルピス

●アサヒ飲料株式会社

「カルピス」に独自の乳酸菌「Lactobacillus amylovorus (ラクトバチルス アミロボラス) CP1563 株」を配合。体脂肪を減らす乳性飲料です。

F.



5名様

## オリジナルトートバッグ&ペン

●表参道・新潟館ネスパス

「表参道・新潟館ネスパス」のロゴを、新潟の職人たちが手作業でプリントしたトートバッグ。ロゴ入りの消せるボールペンとセットで。

G.



1本入り  
5名様

## フルーツハーブティー (バニラ&アップル)

●株式会社 京橋千足屋

ハイビスカス・ローズヒップをベースに、フルーティなアップルとバニラの優しい香りを加えたオリジナルブレンド。

### プレゼント応募方法

①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④年齢 ⑤性別 ⑥本誌入手場所  
⑦本誌の感想 (100文字程度) ⑧希望するプレゼント番号を  
明記し、はがきまたはメールで下記までご応募ください。抽  
選でプレゼントが当たります！ 締切は2017年5月31日。当  
選者は次号誌面で発表します。

■件名には「プレゼント応募」とご記入ください。

はがき ▶ P28の専用はがきでご応募ください。

メール ▶ [nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp](mailto:nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp)

※いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。  
※お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで当支部が  
行う広報に活用させていただく場合があります。

協賛品募集中！ お問合せは ▶ [nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp](mailto:nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp)

### 前号のプレゼント当選者

#### A 三ツ矢サイダーW

山下 敏史 (新宿区)  
松岡 豪 (目黒区)  
佐藤 かえで (中央区)  
高野 洋一 (渋谷区)  
長田 ちひろ (新宿区)

#### B 小岩井 純水ぶどう

遠藤 由梨 (神奈川県相模原市)  
石川 泰成 (埼玉県桶川市)  
杉山 博史 (府中市)  
石橋 淳 (新宿区)  
武澤 葉子 (墨田区)

#### C TAEKOサンスクリーン

田中 初美 (世田谷区)  
儀我 有子 (練馬区)  
大槻 真紀 (渋谷区)  
堤 麻紀 (神奈川県川崎市)  
辻 智子 (武蔵野市)  
豊岡 麻衣子 (練馬区)  
秋田 勇治 (大田区)  
松下 伶奈 (渋谷区)  
高野 真理子 (大田区)  
室山 ゆり (練馬区)

※敬称略・順不同



バックナンバーはこちら  
<http://www.tokyo.jrc.or.jp/kohoshi/>

### 読者の声 (vol.12)

特集内の「生きることについて考えた。」の記事はすごく心に響きました。受血者加藤さんの「誰がいつ何時必要になるかわからない」という言葉を忘れずに、今後も100回の献血を目指して献血ルームに通います。

練馬区・35歳・女性 (吉祥寺献血ルームタキオン)

気軽な気持ちで献血に参加していたので、実際に自分の血がどこかの誰かの役に立っているという意識は希薄でした。献血を介して患者さんから患者さんのご家族へと命が繋がっている事がとても不思議でした。

渋谷区・29歳・女性 (献血ルーム新宿ギフト)

※( )はNTの入手場所



# 赤十字は、 ジミチです。

「赤十字の活動は広すぎてわかりづらい。」  
と言われることがあります。

赤十字の活動は、国や状況、理由、活動の種類を  
限定しません。対象は全世界の苦しむ人々です。

確かに、エリアや対象となる人々を限定して緊急性  
を訴えるほうが社会の目に届きやすく、理解され  
やすいかもしれません。

しかし、赤十字は世界最大の人道機関。

その組織力があるからこそできることがあります。

緊急時の支援は当然のこと、すべての脅威から  
人々を守るために全世界で活動しています。

もちろん、国内でも医療や献血、そして大災害に  
対する取り組みなど、皆さまの身近なところで  
活動しています。

命を守るために必要であれば、スポットライトが  
当たることのないジミな活動も大切にする。

これが赤十字のジミチです。

## 「赤十字子供の家」移転改築の地鎮祭を開催

日本赤十字社東京都支部は3月9日、赤十字子供の家の建設予定地（武蔵野市境南町1-10-4）で移転新築工事の地鎮祭を執り行いました。雲ひとつない快晴のなか、職員や設計会社社員など関係者25人が参列し、滞りなく工事が進むよう祈念しました。

鋤入れを行った赤十字子供の家の寺田政彦園長は、「子どもたちが安全・安心に暮らせることが私たちの一番の願いであり責務。そのために工事がスムーズに進むよう、思いを込めました」と話しました。

赤十字子供の家は、虐待やその他の家庭環境等により、施設での保護養育が必要とされる子どもたちをお預かりする児童養護施設です。現在、武蔵野赤十字病院の敷地

内にあり、同敷地内で平成29年3月に着工、平成29年度中の竣工を予定しています。移転新築にあたっては、皆さまの温かいご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



鋤入れを行う寺田政彦園長



## 活動資金協力者(社)・団体のご紹介

皆様のご協力により日本赤十字社の活動は支えられています。  
活動資金のご協力、誠にありがとうございました。

※10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了承いただいた個人、法人および団体等を掲載しています。

活動資金協力に関するお問合せは  
東京都支部 振興課 03-5273-6743まで

●千代田区	
(一社)霞会館	300万円
(株)朝日写真ニュース社	30万円
翔和建物(株)	20万円
サンベック(株)	10万円
GER(株)	10万円
(株)ノタック	10万円
●中央区	
村越 花子	100万円
小泉 久夫	10万円
弥生興業(株)	10万円
●港区	
(株)エスエルジャパン	50万円
AOLプラットフォームズ・ジャパン(株)	32万2,229円
イーパートナーズ(株)	30万円
第一環境(株)	10万円
(株)東京プログレスシステム	10万円
(有)藤井クリーニング	10万円
(株)プライム・オリジンズ	10万円
●新宿区	
横村 武宣	50万円
出井 弘八	10万円
高砂熱学工業(株)	54万9,480円
全労災東京都本部	39万4,835円
税理士法人アルタ東京会計事務所	10万円
(株)放送サービスセンター	10万円
歌舞伎町商店街振興組合	13万円
●台東区	
玉姫稲荷神社靴のめぐみ祭り市実行委員会	10万円
●江東区	
川島 秀正	10万円
坂元 左	10万円
江東明るい社会づくりの会	10万円
●品川区	
(株)オーツカ光学	110万円
丸亀製麺	29万5,512円
品川合同葬祭(株)	10万円
●目黒区	
津村 重臣	30万円
石井 博子	10万円
長谷川 光延	10万円
●大田区	
太陽電業(株)	200万円
(有)丸十オリエント	50万円
柴田不動産(株)	10万円
●世田谷区	
井上 桂子	100万円
五来 純	100万円

佐橋 俊彦	100万円
藤森 博昭	33万円
西村 好胤	30万円
寛 千づる	10万円
高橋 隆	10万円
山崎 達彦	10万円
三栄製薬(株)	115万円
映心産業(株)	15万円
(株)石井植木	10万円
●渋谷区	
小川 とみ	100万円
(宗)世界平和統一家庭連合	50万円
リパブルアセットマネジメント(株)	15万7,450円
遠藤デザイン(有)	15万円
(株)アイワホーム	10万円
(株)お世話や	10万円
国際空手道連盟 極真会館	10万円
(有)タヒチパール・ジャパン	10万円
●中野区	
樋口 盛一	50万円
●杉並区	
井口 清	120万円
大崎 千鶴代	10万円
●豊島区	
(株)カーメイト	100万円
●北区	
市川 政雄	10万円
(有)山崎鉄工所	10万円
●荒川区	
柴本 佳子	10万円
●板橋区	
若佐 和子・英彦・英之	15万円
長尾 トモ子	10万円
宮川 美知子	10万円
河島コンクリート工業(株)	10万円
(株)曠淳開発	10万円
●練馬区	
若林 尚	20万円
榎本 孝之	10万円
アルファ丸嶋不動産(株)	20万円
岡田設備工業(株)	10万円
金子建材(有)	10万円
(株)三栄プラスチック	10万円
(株)関建設工業	10万円
パイオニア工機(株)	10万円
●足立区	
柳川 幸一	30万円
(有)柳川運送	50万円

●葛飾区	
小倉 茂	160万円
島 徹	10万円
(株)衛生微生物研究センター	10万円
●江戸川区	
吉野 茂男	200万円
(株)水域ネットワーク	20万円
(株)タムラ	12万円
関東商事(株)	10万円
●八王子市	
高野 重信	150万円
●武蔵野市	
齋藤 八郎	10万円
●三鷹市	
木村 得玄	100万円
柿澤 康子	10万円
●府中市	
草間 光一	10万円
高橋 勇	10万円
●昭島市	
岩崎 五六	30万円
石川 功	10万円
●調布市	
田邊 美春	10万円
●町田市	
社会福祉法人蓮倫会 小山保育園	10万円
●日野市	
土方 フミ	10万円
●東村山市	
(株)一休	10万円
●国立市	
関 儀和	100万円
保科 寛之	10万円
●西東京市	
新井 節子	50万円
吉岡 優二	15万円
當麻 祐子	10万円
西東京ハーモニカ音楽協会	18万5930円
●東久留米市	
(有)松川物産	10万円
●稲城市	
中西食品(株)	10万円
●千葉県	
苦米地 巳代子	100万円
●神奈川県	
長瀬 六朗	500万円

(敬称略・順不同)



# Rediscovery TOKYO

東京を、再発見しよう

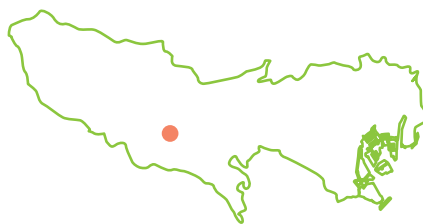


## 第6回 八王子市・滝山公園（滝山城跡）

JR八王子駅からバスで20～30分。最寄りのバス停で降りると、こんもりと雑木林に覆われた丘がある。「ここに桜が？」と狐につままれたような気分のまま胸突き八丁の坂道を登ると、目の前に広がる桜の群生林に息を呑んだ。

多摩川を遥か眼下に望む滝山公園は、戦国時代の山城があった場所で歴史ファンにも有名。その昔は池だったという谷状の斜面に群生するソメイヨシノやヤマザクラ、サトザクラ。樹々は谷から陽の光を求めて高く高く幹を伸ばし、この場所の桜たちを唯一無二の姿にしている。

桜色の幽玄な靄に包まれているようなこの空間に長い間いると、公園の外の風景が全く見えないことも手伝って、いつしか時間の感覚が歪んでくるようだった。







## + 東京観光写真倶楽部

TOKYO SIGHTSEEING PHOTO CLUB

写真とはまさに「光を観ること」。東京を＜観光＞しながら撮影を楽しむことを目的とし、2005年に発足した同倶楽部は、東京諸島を含む都内各地で撮影会を開催している。部長を務めるのは、日本赤十字社専属カメラマンである菅原一剛氏。東京の写真を撮り続けている同倶楽部とコラボレーションした連載が、Rediscovery TOKYOです。

菅原一剛 HP <http://ichigosugawara.com> 東京観光写真倶楽部 <http://tokyophoto.ne.jp>



わたしの一步

# ONE STEP

Vol.  
04

いそ べ しゅん  
磯部 舜



## Profile ● Shun Isobe

東京理科大学工学部2年生。同大学学生赤十字奉仕団委員長。神奈川県学生献血推進連盟にも所属し、多岐にわたる活動を展開中。

## 赤十字で受け継いだものを後輩に伝えたい

**大**学でボランティアサークルに入ろうと思っていたわけではないんです。母親に「やってみたら？」と言われたのがきっかけです。やってみたらハマりました。いまはボランティア活動が趣味です。バイトもあまりせずに、学生奉仕団の活動にのめりこんでいます。

なぜ、赤十字だったかというところ、そこにたまたま赤十字があったから(笑)。もっとも、赤十字のことは「献血をやっているところ」という程度の認識でしたが。

人と関わるのが好きで、学生奉仕団で

は違う大学の仲間に出会えると、違う価値観に触れられて刺激になります。呼びかけで大きな声を出して、献血や募金に協力してもらえると、すごい達成感がある。充実していますね。

奉仕団員になって初めての活動は、障害のある子どもたちと一緒に遊ぶボランティア。そこで「ありがとう」と言ってもらえたのが本当にうれしかった。半年後に再会したときに、僕のことを覚えていてくれた子もいるんですよ。

もともと人前で話すのが苦手だったん

ですが、赤十字と出会って自信ができました。親からも「顔つきが変わったな」と言われます。実は積極的な性格だったんだなと気づきました。

活動中、先輩に昼食をご馳走してもらったときに「この気持ちを来年の後輩に返してくれ」と言われました。こうやって次の世代につないでいくんですね。だから僕はいま、先輩たちからもらった感謝の気持ちを、後輩たちに“恩返し”しているところです。後輩たちも慕ってくれて、かわいくて仕方ないですね。



日本赤十字社 東京都支部  
Japanese Red Cross Society

〒169-8540 東京都新宿区大久保1丁目2番15号  
TEL 03-5273-6741 (代表) FAX 03-5273-6749 <http://www.tokyo.jrc.or.jp>

FacebookでもNTが読めます！

